

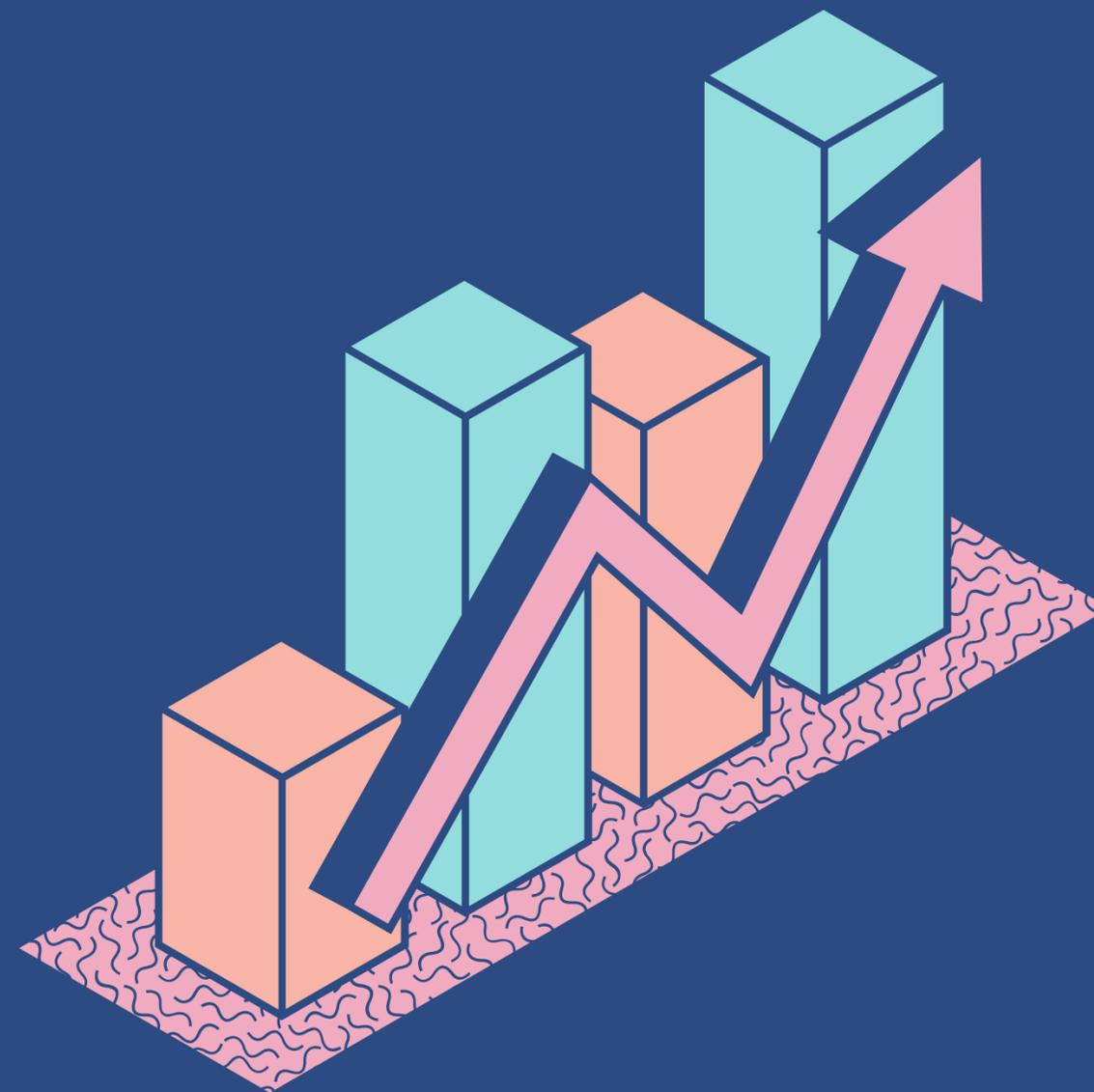


あなたの人生を デザインします

長田 杷奈 ・ 宮川 結衣 ・ 徳永 彩七

(202301767) ・ (202302009) ・ (202202108)

事業背景



この数字が何かわかりますか？

100%

100%

子供の頃憧れていた職業に就けた人

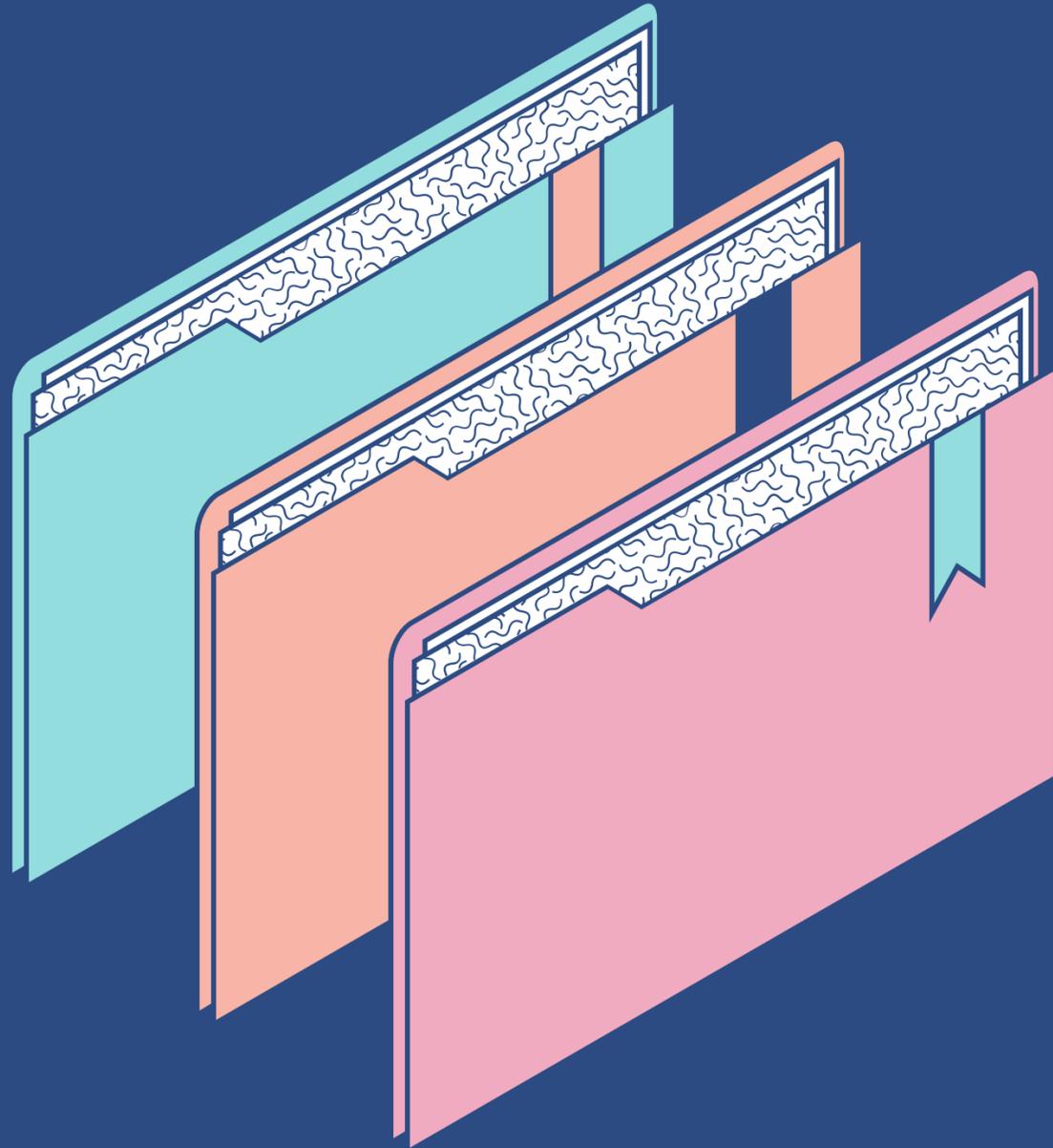
この数字が何かわかりますか？

80%

800%

憧れの職業と現在にギャップを感じる人

現在のキャリア教育



学年ごとに社会で活動するために
必要な力を身につけるためのカリキュラム

〈低学年〉

- 人間関係形成、社会形成能力
- 自己理解、自己管理能力
- 課題対応能力

〈中学年〉 〈高学年〉

- キャリアプランニング能力→キャリアパスポート

〈中学校〉

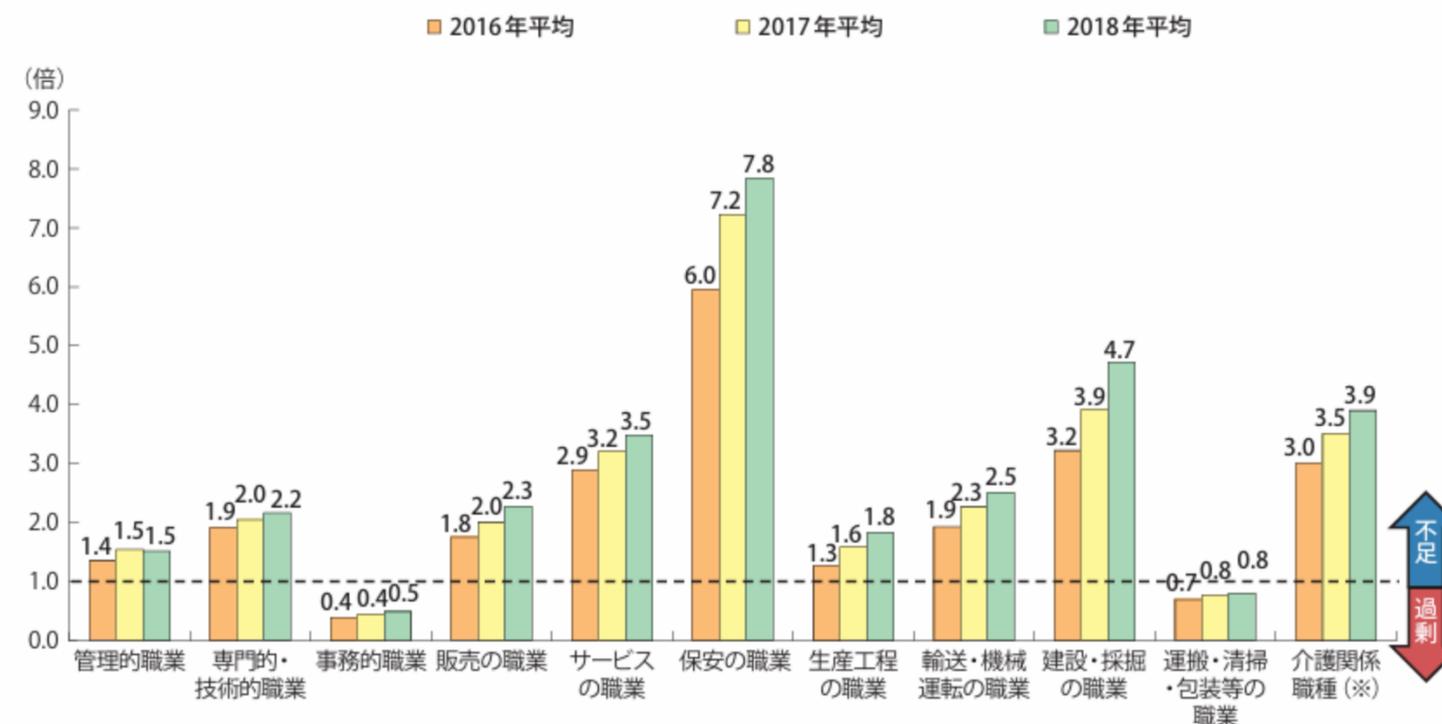
- 職業体験

中小企業による 人材確保の厳しさ

雇用のミスマッチ

業種別にみても全体的な人手不足

第1-4-9図 職業別有効求人倍率（パートタイム含む常用）



資料：厚生労働省「一般職業紹介状況」

(注)1.「農林漁業の職業」「分類不能の職業」を除いて表示している。

2.「介護関係職種」とは、平成23年改定「厚生労働省職業分類」に基づく「福祉施設指導専門員」、「その他の社会福祉の専門的職業」、「家政婦（夫）、家事手伝い」、「介護サービスの職業」の合計であり、それぞれ「専門的・技術的職業」「サービスの職業」から抽出した数値である。

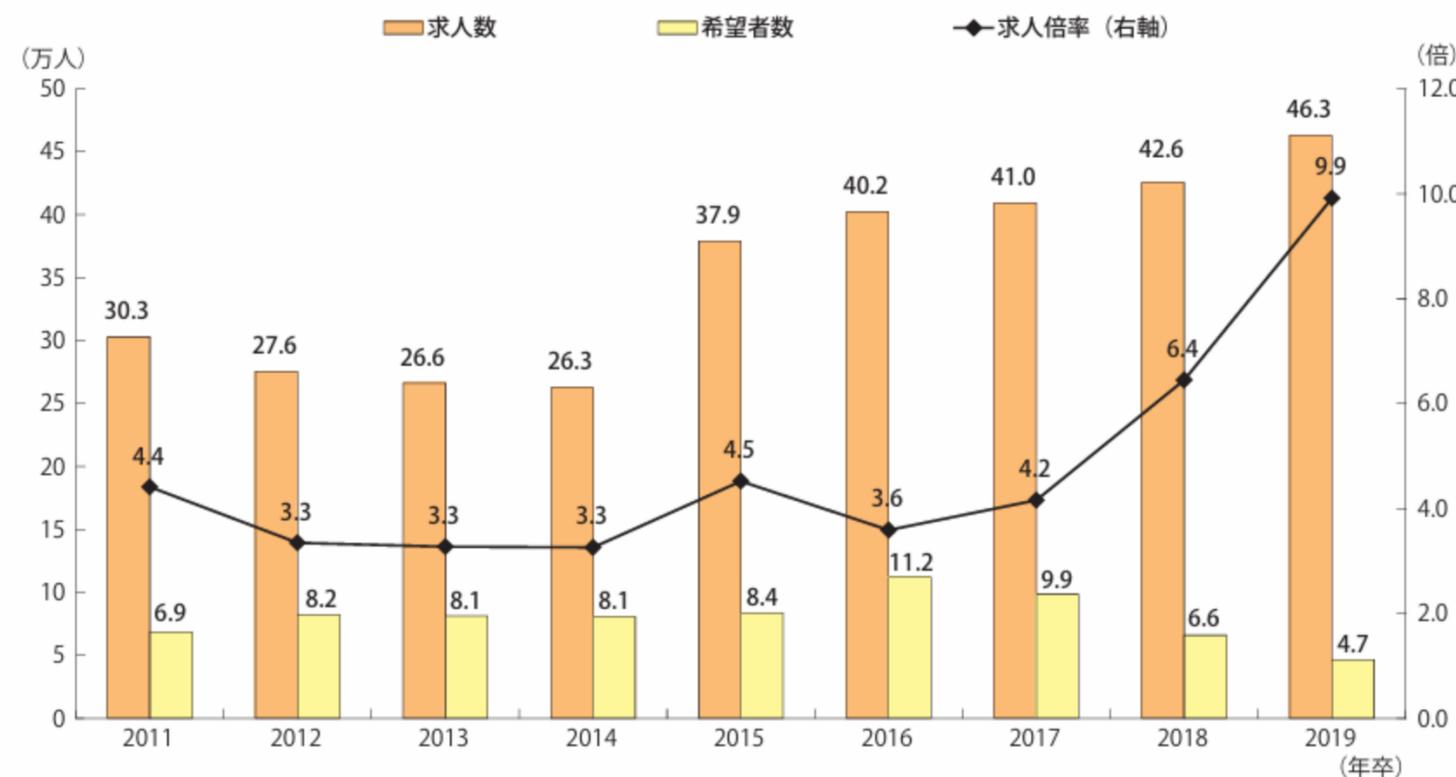
中小企業による 人材確保の厳しさ

〈中小企業〉

増加する求人数

減少する就職希望者数

第1-4-10図① 従業者数299人以下の企業の大卒予定者求人数・就職希望者数の推移



資料：リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

引用：中小企業庁 人手不足の状況

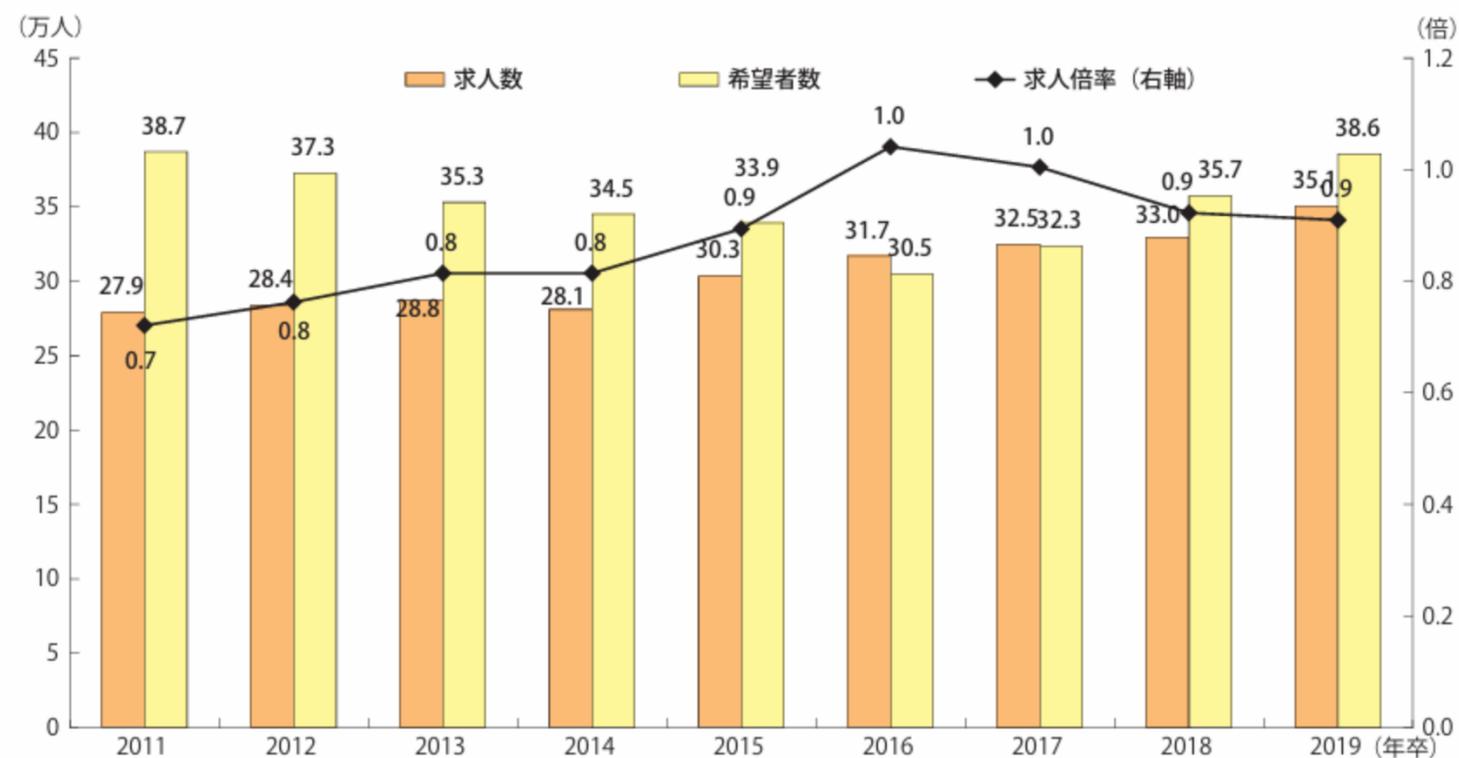
中小企業による 人材確保の厳しさ

〈大企業〉

増加する求人数

増加する就職希望者数

第1-4-10図② 従業者数300人以上の企業の大卒予定者求人数・就職希望者数の推移



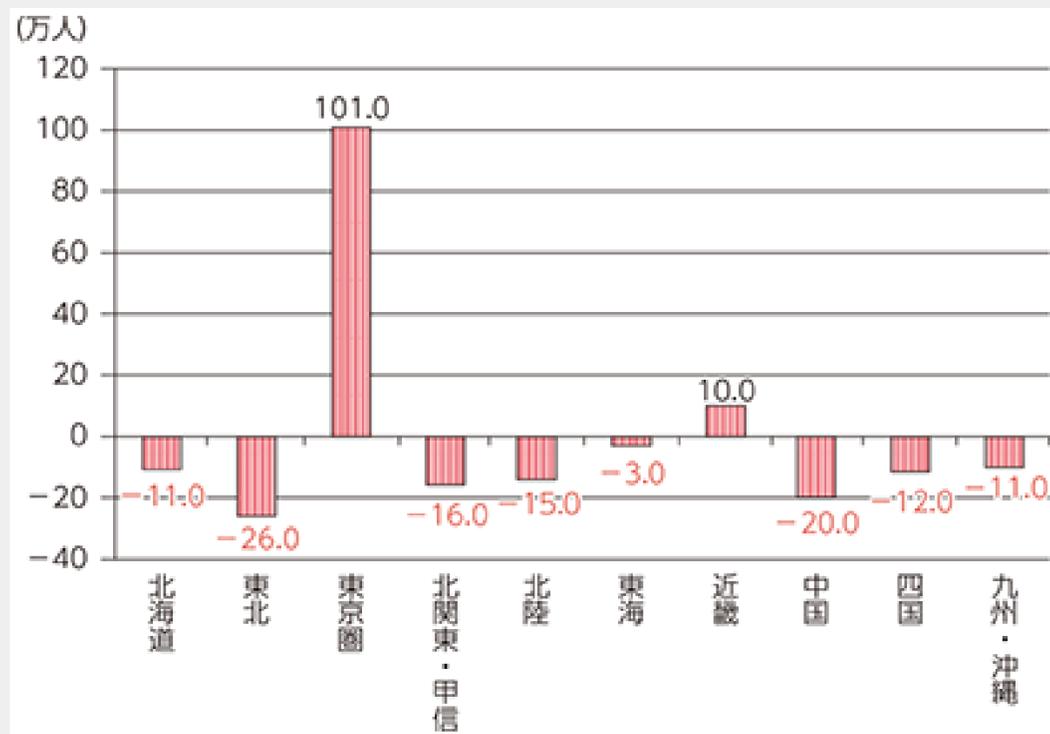
資料：リクルートワークス研究所「ワークス大卒求人倍率調査」

引用：中小企業庁 人手不足の状況



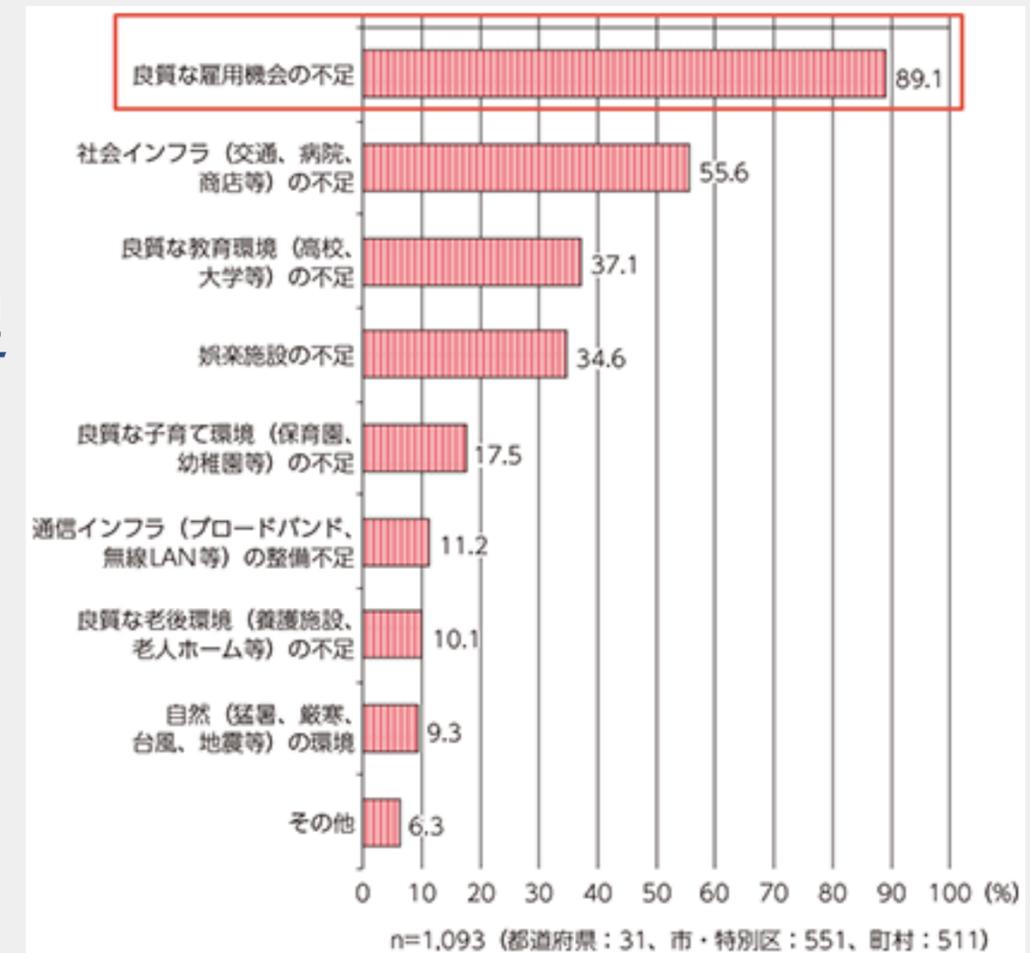
地方における 人材流出課題

“良質な”雇用機会の不足



人口流出の原因は
雇用環境

魅力的な就職機会が
地方には不足



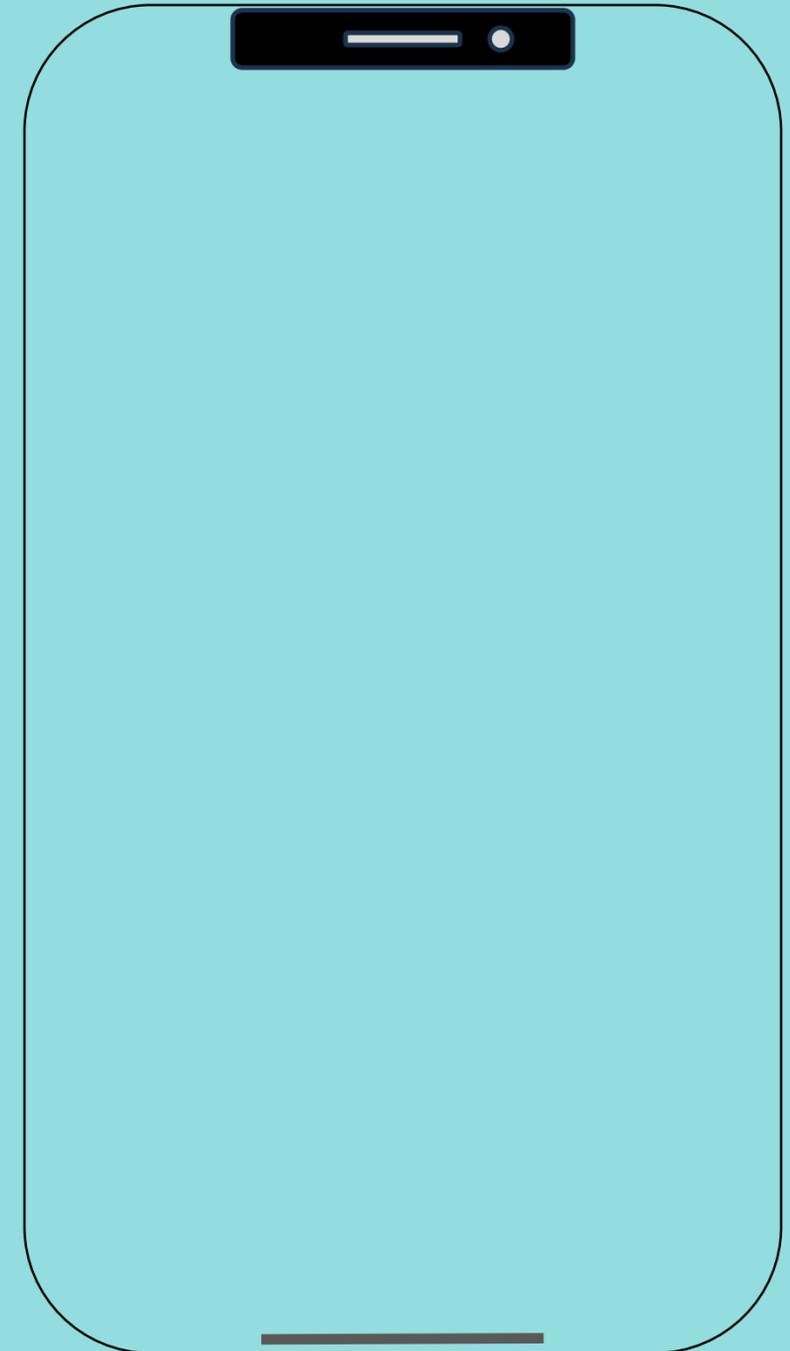
⇒雇用の質

事業提案

【キャリア教育支援のプラットフォーム】

〈子供向けアプリの提供〉

- キャリア情報の発信
- キャリア教育の支援
- 職業体験の支援

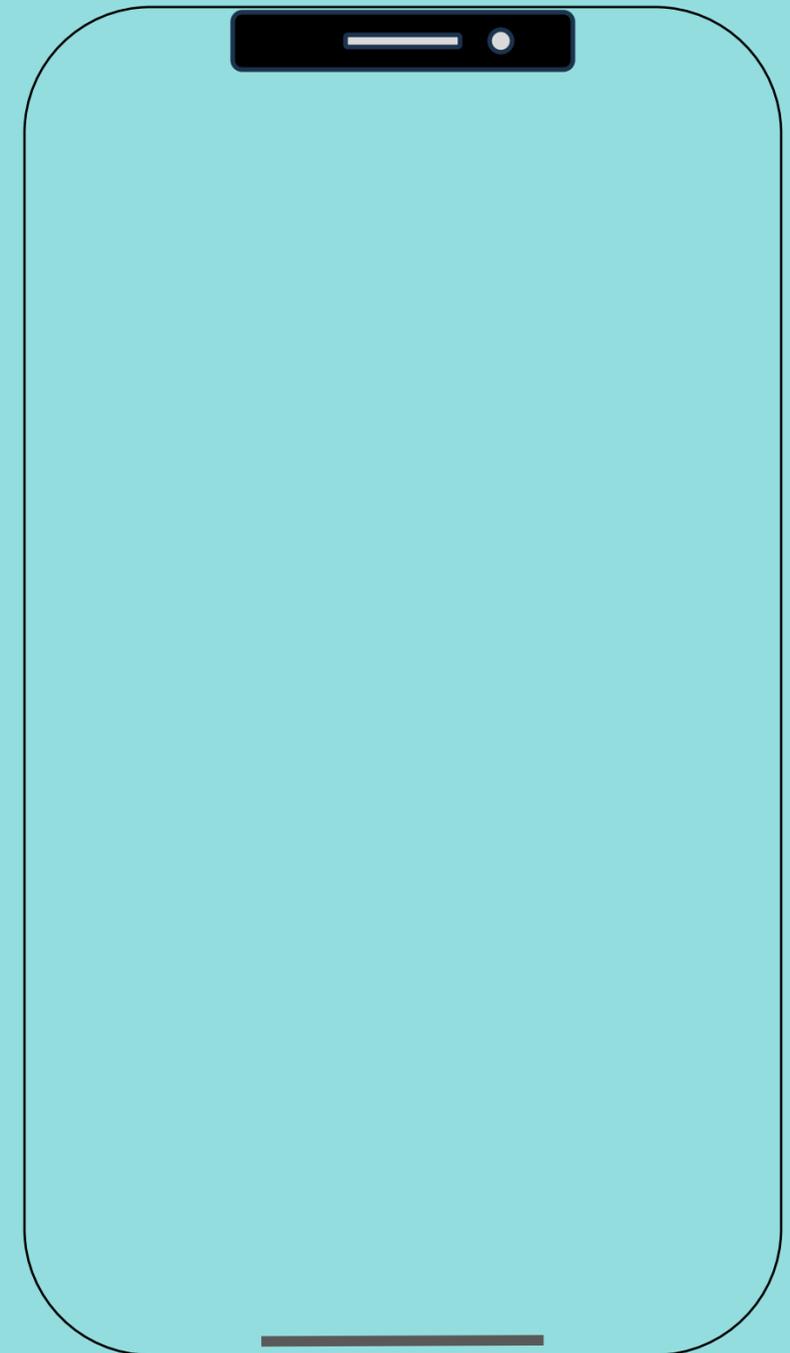


事業提案

【キャリア教育支援のプラットフォーム】

〈子供向けアプリ機能〉

- 職業紹介記事の閲覧
- 交流イベント
- ワークショップ
- 職場体験代行



事業内容

【教育機関・学生側のメリット】

リアルな情報を得られる

実際の現場を体験することで、その職業のリアルな情報や体験を知ることができる

教師の業務負担の軽減

職場体験のための交渉や事前準備、キャリア教育などを教師に代わって行う

早期キャリア教育

現在より早いうちからキャリア教育を行うことによって、より将来の選択肢を広げられる



—提案—

キャリア教育 × 中小企業

子供たちへのキャリア教育のための
プラットフォームの提供

中小企業と学生をつなぐ場づくり

中小企業間をつなぐ場の提供



事業内容

【中小企業との懸け橋】

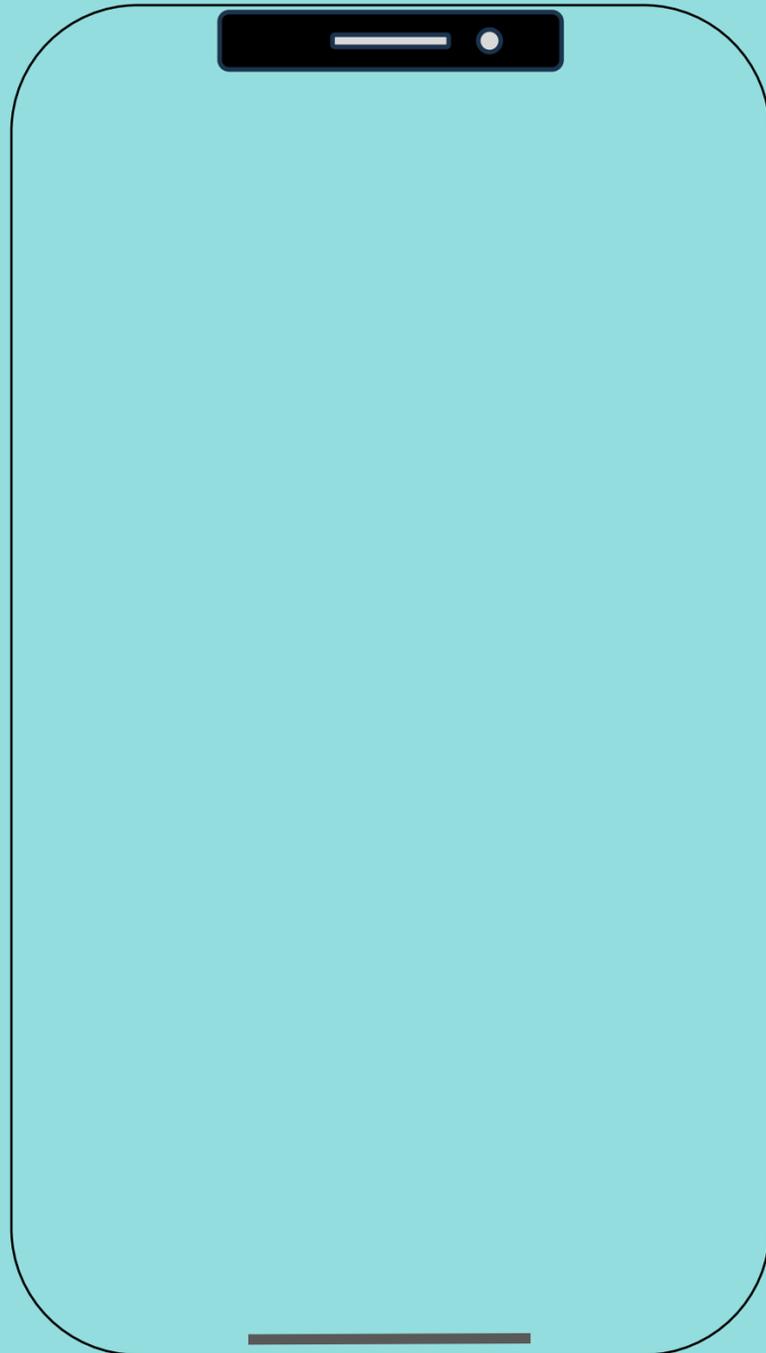
〈子供向け〉

- 職業体験やインターシップ
その他イベント等への参加が可能

〈企業向け〉

- 閲覧数などの情報を得られる
- 人材確保の可能性

事業提案



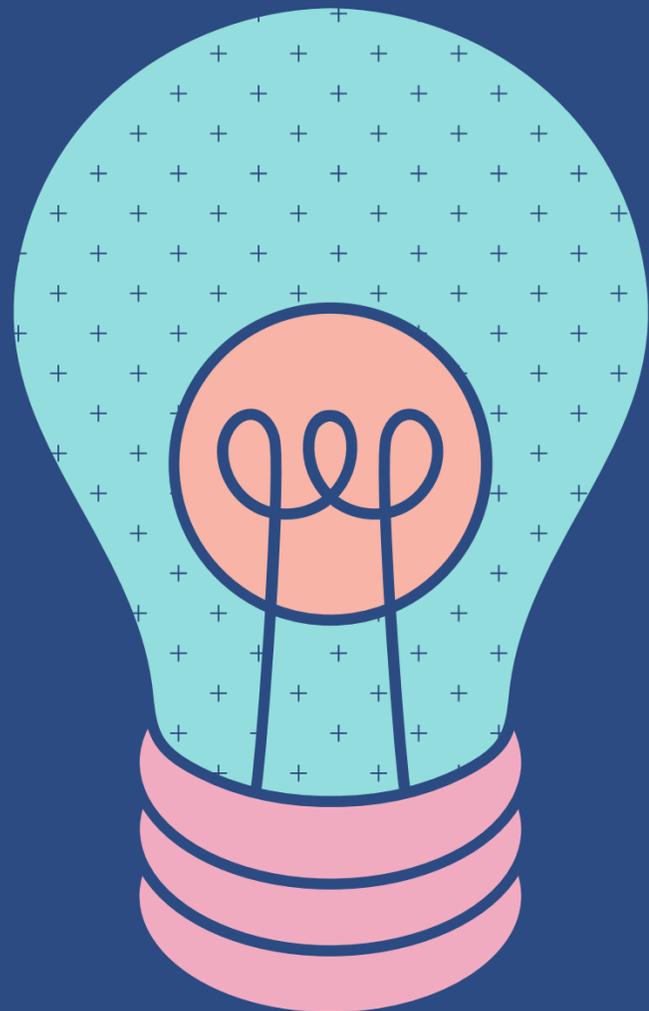
【中小企業間での交流の場】

〈企業アプリの提供〉

- 子供たちへの情報提供
- 企業同士での交流が出来る
プラットフォーム
- 企業同士での交流イベントの支援

事業内容

【企業側のメリット】



子供たちの柔軟なアイデアの獲得

子供の形とられない自由な発想を得ることが出来る
普段、交わることのない両者から生まれる
斬新なアイデアの可能性

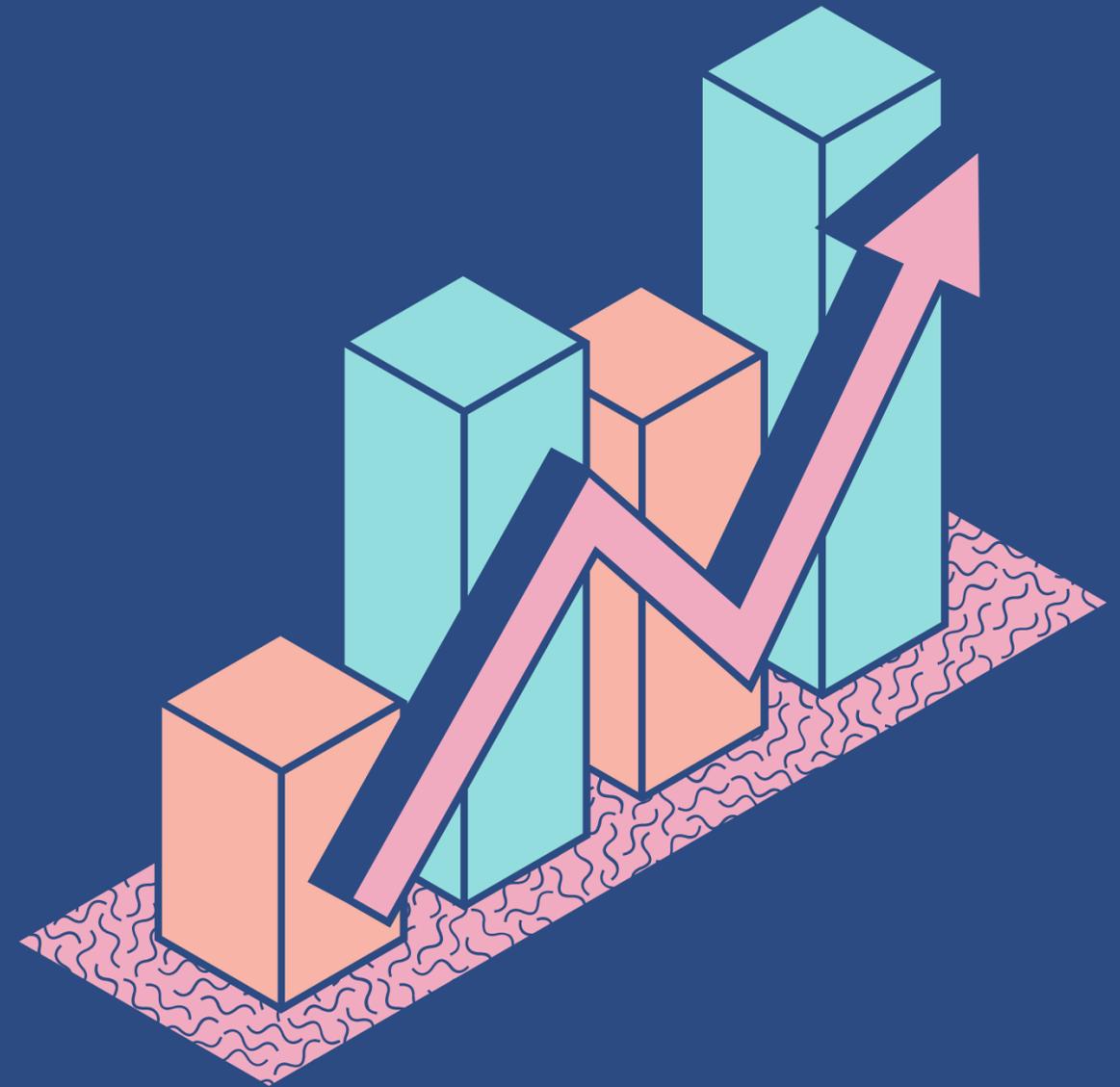
普段かかわりのない企業との交流

今までかかわりのなかった企業との交流が出来る
新規ビジネス開拓の可能性
今までの業務改善の可能性

将来の人材確保の可能性

今までキャリア教育ではあまり触れられることのなかった中小企業を、リアルに感じてもらえるので、人材確保の可能性が広がる

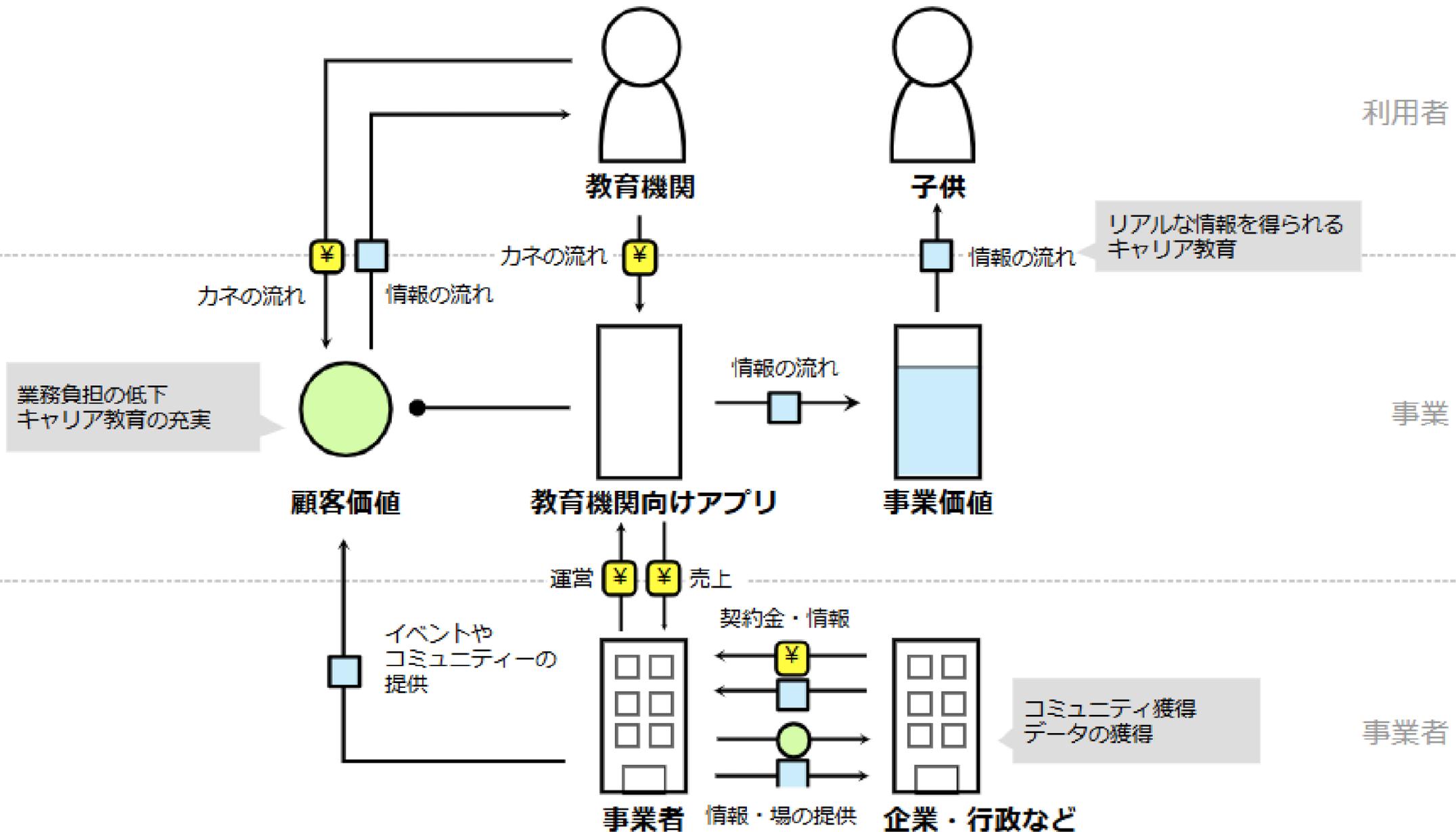
ビジネスモデル



教育機関向け

自分たちの事業案
＜教育機関向け＞

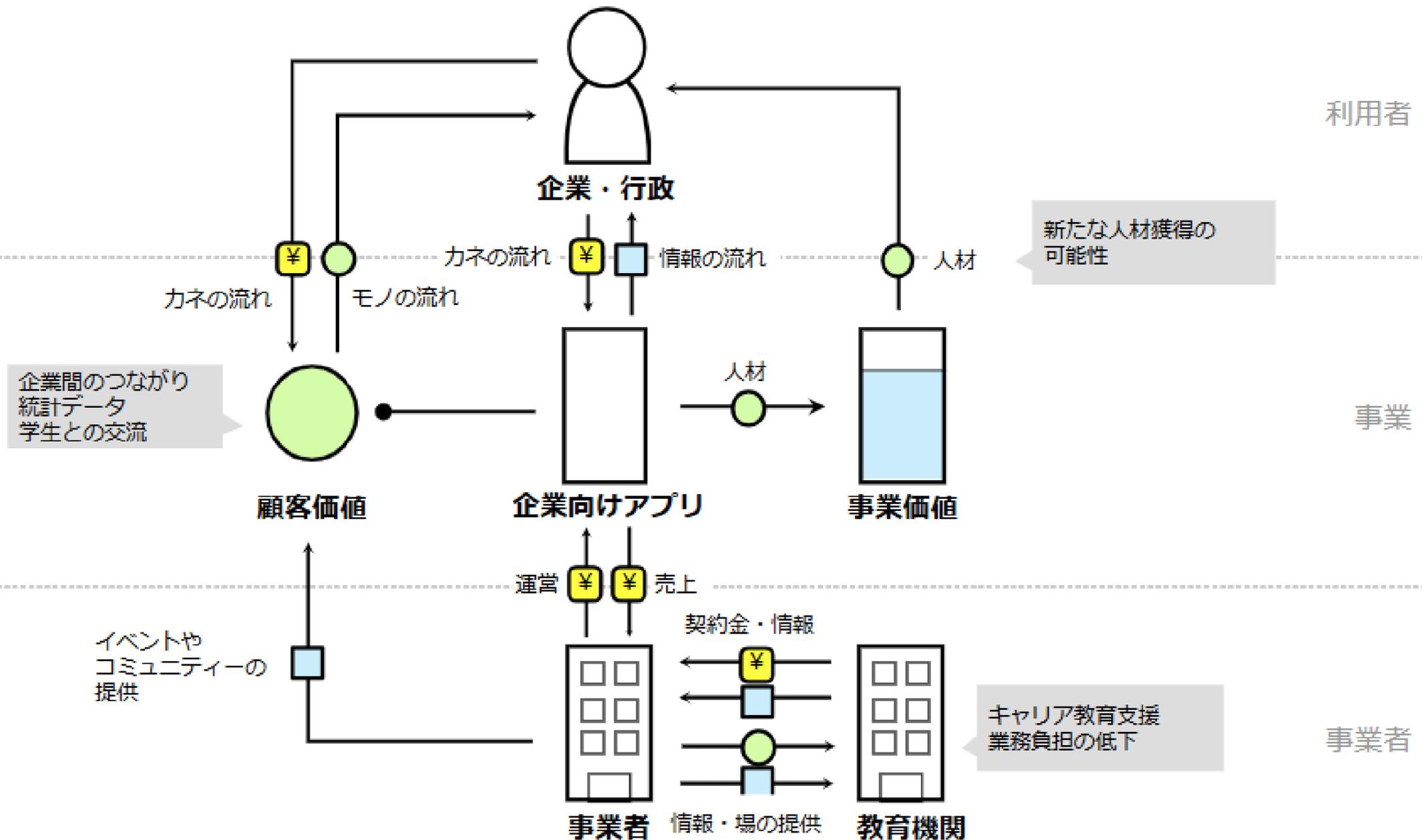
事業名：happy adventure's



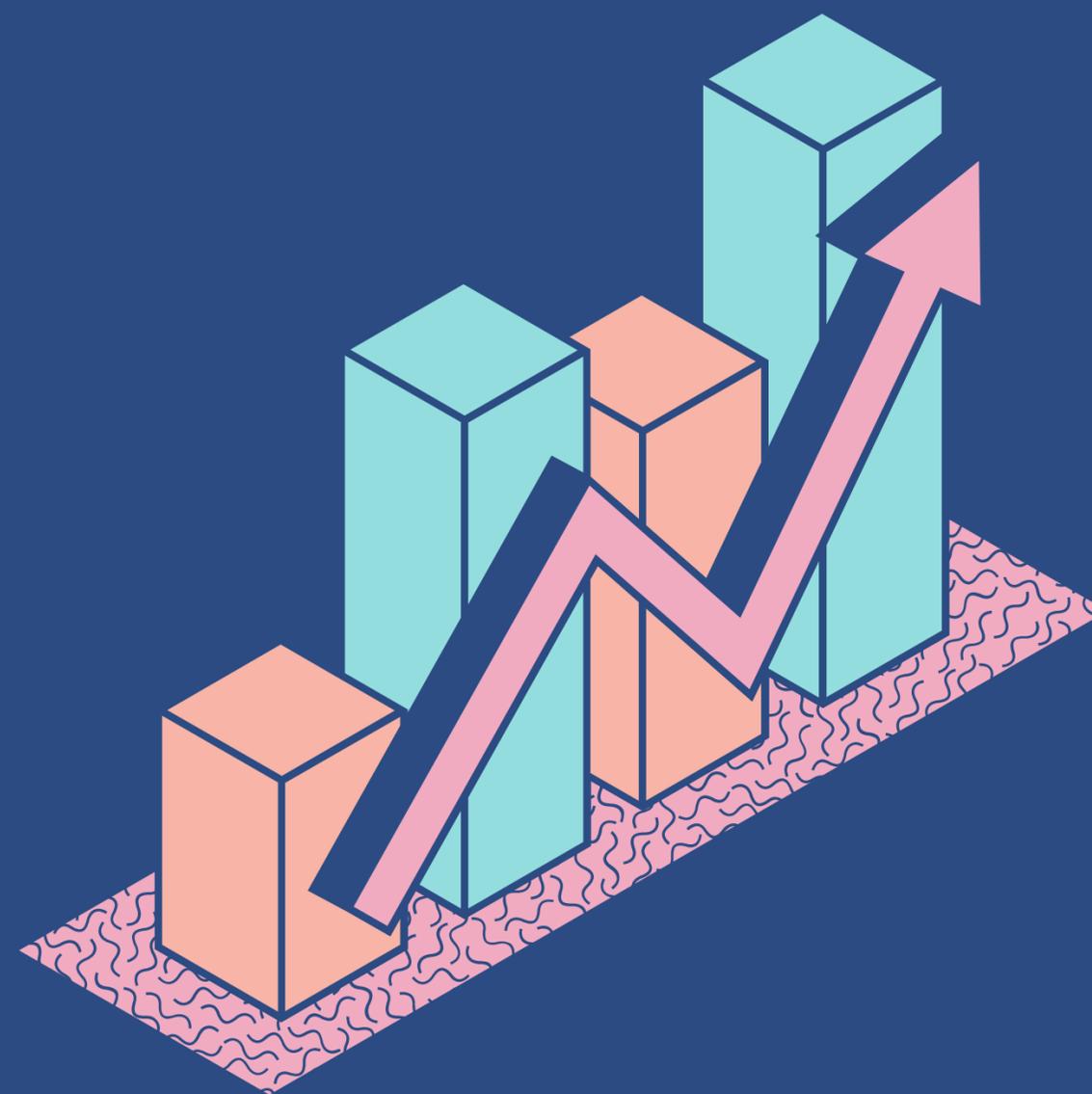
企業向け

自分たちの事業案2
〈企業向け〉

事業名：happy adventure's



数值計画



初期費用 合計（364万）

初年度費用項目	主年度費用額
人件費	2,520万
外注工費	360万
法定福利・福利厚生費	165.6万
広告宣伝費	1,000万
接待交際費	1,080万
備品	75.6万
地代家賃	175万

初年度収益

子供向け (A)、企業向け (B)

収益項目	1年目収益額
(A)アプリ利用(目標5校)	750万
(A)イベント、ワークショップ参加	22万
(A)職場体験業務の代行	20万
(B)アプリ利用(目標10社)	270万
(B)イベント参加	90万
(B)子ども向けアプリへの記事掲載	150万
売上高	1,300万

初年度損益計画

項目	1年目	2年目	3年目
売上	1,300万	万	万
売上原価	317万	万	万
売上総利益	984万	万	万
営業利益	-2657万	万	万
経常利益	-2672万	万	万
税引後利益	-万	万	万

質疑応答

